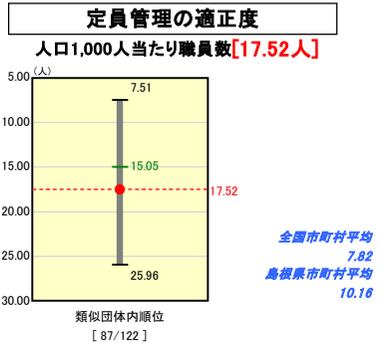
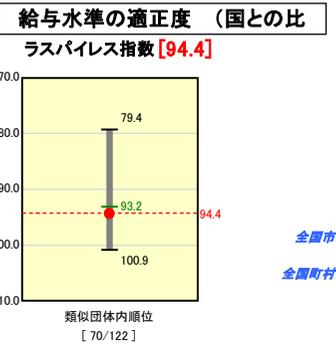
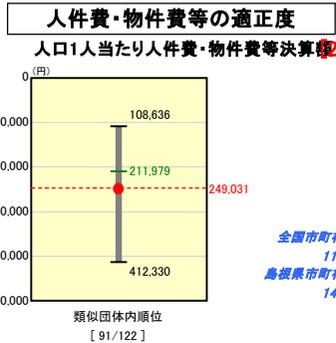
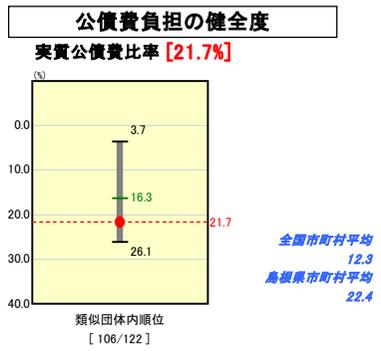
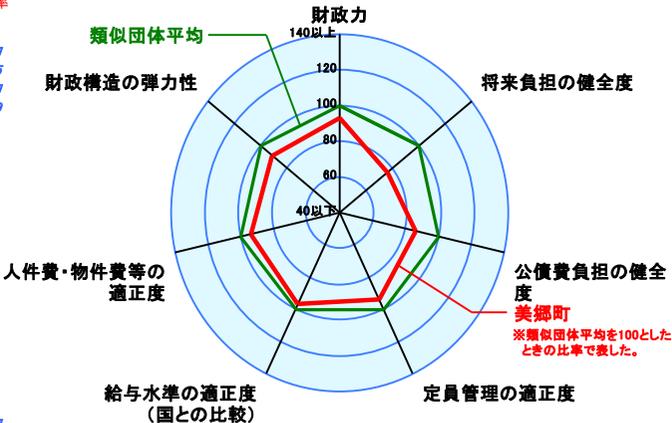
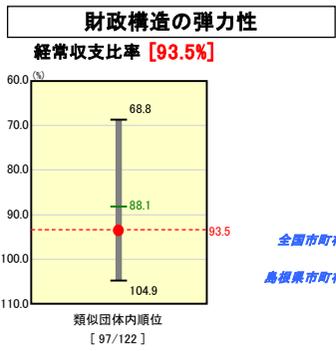
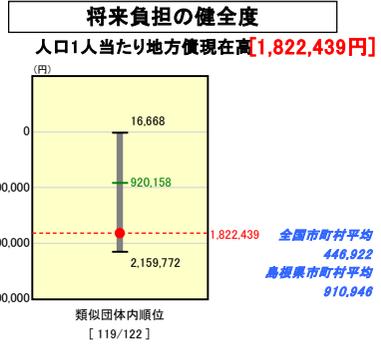
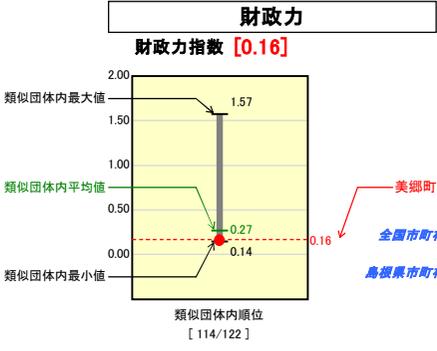


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

島根県 美郷町

人口	5,880	人(H20.3.31現在)
面積	282.92	km ²
歳入総額	6,828,417	千円
歳出総額	6,711,586	千円
実質収支	116,791	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数◆人口の大幅な減少(H17国調5,911人※対12国調▲713人)や、全国平均を大きく上回る高齢化率(H17.10末41%)に加え、町内に中心となる産業が無いための財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。

経常収支比率◆H18年度より予算編成において枠配分方式を取り入れ、新規事業を確保しつつ歳出全般について圧縮をかけ、H18、H19とも93.5%となった。繰上償還・給与カット等を継続して行っているためH20年度以降も減少する見込みである。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額◆小規模団体同士の合併であったため、類似団体に比べ職員数も多くまた人口に比べ面積が大きいため、人件費・物件費は割高になっている。H16より毎年退職勧奨等を行い職員数も合併時に比べ大きく減少し、物件費においても予算段階で毎年削減しているため今後は減少に向かう見込みである。

実質公債費比率◆普通建設事業の償還もピークを過ぎ、減少傾向にある。類似団体平均を上回っているがH17年度より策定の公債費負担適正化計画に基づき、計画的な起債の発行を行う事により今後も継続して減少する見通しである。H19～H20年度には政府資金等の繰上償還を実施し、公債費負担の軽減に努めている。

地方債現在高◆現在の地方債現在高の増大の背景には、平成初年度に景気対策に伴う地方債の発行によるもの比率が大きい(H19末現在高10,716百万円のうち約60%が交付税措置保証分※町独自試算)

ラスパイレズ指数◆平均よりやや上回るが、合併後より継続して給与体系の見直しを行っている最中である。

人口1,000人当たり職員数◆合併により職員数は平均より多くなっているが、町では定員適正化計画を策定し適正な人員配置に努める。※普通会計職員数目標数値(適正化計画素案による) [H20.4.1] 101人 ⇒ [H27.4.1] 80人